患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。（オプトアウト）
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2018年　7月　16日
研究終了日	2025年　3月　31日 まで
研究の名称	骨脆弱性を有する疾患の治療評価
研究対象	当院整形外科で骨粗鬆症と診断された患者さん
対象材料	検査・画像データ、診療記録
対象期間	2018年　5月　～　2025年　3月
研究の目的意義	現在、骨粗鬆症患者は超高齢社会を背景に増加の一途をたどっています。骨粗鬆症には、大腿骨近位部骨折、脊椎圧迫骨折、上腕骨近位端骨折、橈骨遠位端骨折など様々な整形外科疾患が合併し、日常生活への障害がでます。これら骨粗鬆症に合併する整形外科疾患に対して、様々な保存的治療および手術的治療が行われていますが、その疫学調査や治療成績を解析し十分な検討を加えることは今後の治療法の改善、開発にとって不可欠であります。そこで当院整形外科を受診した患者様の骨粗鬆症の程度を評価してそのデータを集積し、疫学・治療成績を解析することで骨脆弱性を有する整形外科疾患に関連するリスク因子の解明や最善の治療法の決定をすることを目的としています。
方法	当院整形外科を受診した患者さんにおいて骨脆弱性を有すると考えらえる症例、あるいは骨密度を測定して骨粗鬆症と診断された患者さんの診療データを用いて疫学研究を行います。また骨粗鬆症患者さんの治療前後の診療データ、画像データを集積し、それらを解析しその治療成績を評価・分析します。
個人情報の取り扱い	本研究のデータは、研究目的の達成に必要な範囲を超えて取り扱わず、安全に管理します。研究結果から個人が特定されることはありません。
問い合わせ先 （研究責任者）	市立豊中病院　　整形外科 山本　健吾 TEL 06-6843-0101